

## 2.1 広域交通ネットワークの整備促進

提出先 総務省、国土交通省

### 【提案項目】

- 1 東京五輪とその先を見据えた幹線道路網の整備と利用促進
- 2 橋梁・トンネル等道路施設の老朽化・防災対策
- 3 鉄道網の整備促進

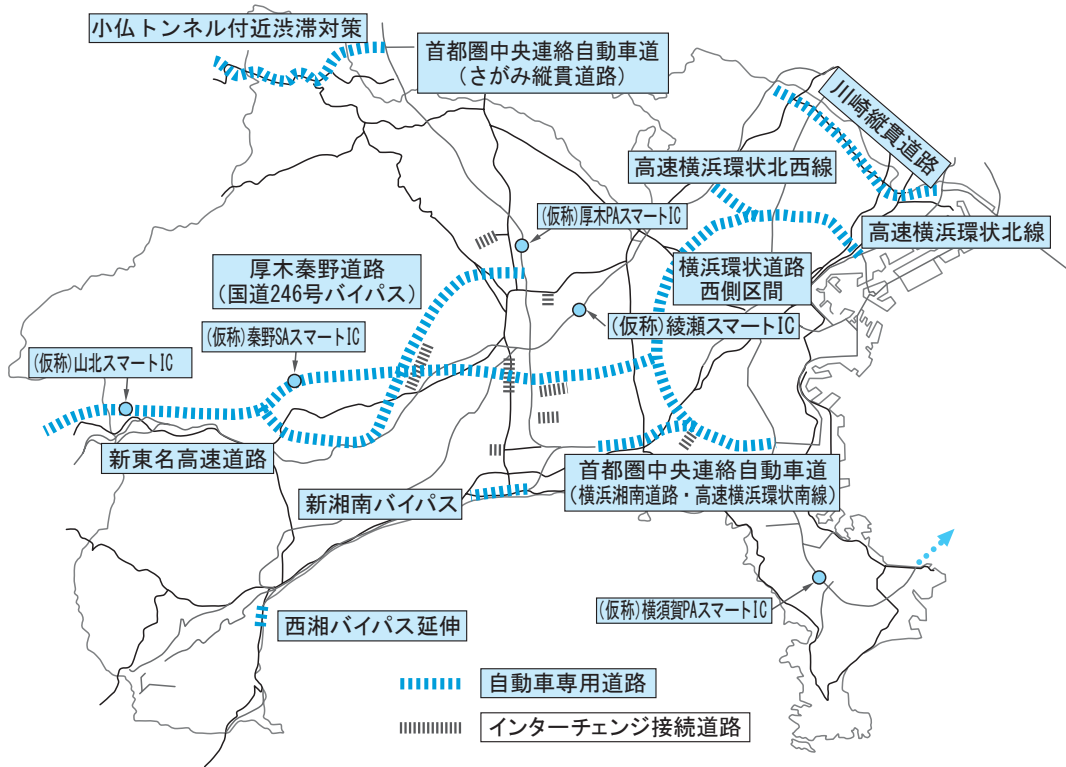
### 【提案内容】

- 項目1** (1) 「横浜湘南道路・高速横浜環状南線（圏央道）」、「新東名高速道路」、「厚木秦野道路」及び「高速横浜環状北線・北西線」は、東京オリンピック・パラリンピックまでに整備を図ること。また、新東名高速道路の海老名以東の計画の具体化を図ること。
- (2) 高速道路の利便性向上を図るスマートI Cやアクセス道路、地域振興・防災拠点に資する「道の駅」の整備等のため、必要な予算措置を講じること。
- (3) 割高となっている圏央道の料金は、環状道路としての利用促進を図るため、また、横浜横須賀道路等その他の割高な区間についても、地域の経済・生活を支えるため、料金の低減を図ること。
- 項目2** 高度成長期に集中的に整備された道路施設の高齢化に対応するとともに、巨大地震等の大規模災害に備えるなど、国土の強靱化に向けた取組を推進するため、道路施設の老朽化対策、防災・減災施策に必要な予算措置を講じること。
- 項目3** (1) リニア中央新幹線については、事業を推進するための諸手続を確実に進め、整備を促進するとともに、駅周辺のまちづくりについても、重点的かつ積極的に地方自治体へ財政支援を講じること。
- (2) 寒川町倉見地区の東海道新幹線新駅や藤沢市村岡地区のJ R東海道線新駅等の実現を図るため、駅舎整備への地元自治体の負担を軽減する制度整備や確実な予算措置を講じること。
- (3) 相模線の複線化や東海道貨物支線の貨客併用化、相鉄いずみ野線の延伸などの整備を促進するため、新たな「東京圏における高速鉄道に関する基本計画」に引き続き位置付けるとともに、民間鉄道事業者や新線整備を含め輸送力増強に資する事業を対象とするなど、助成制度の拡充を図ること。

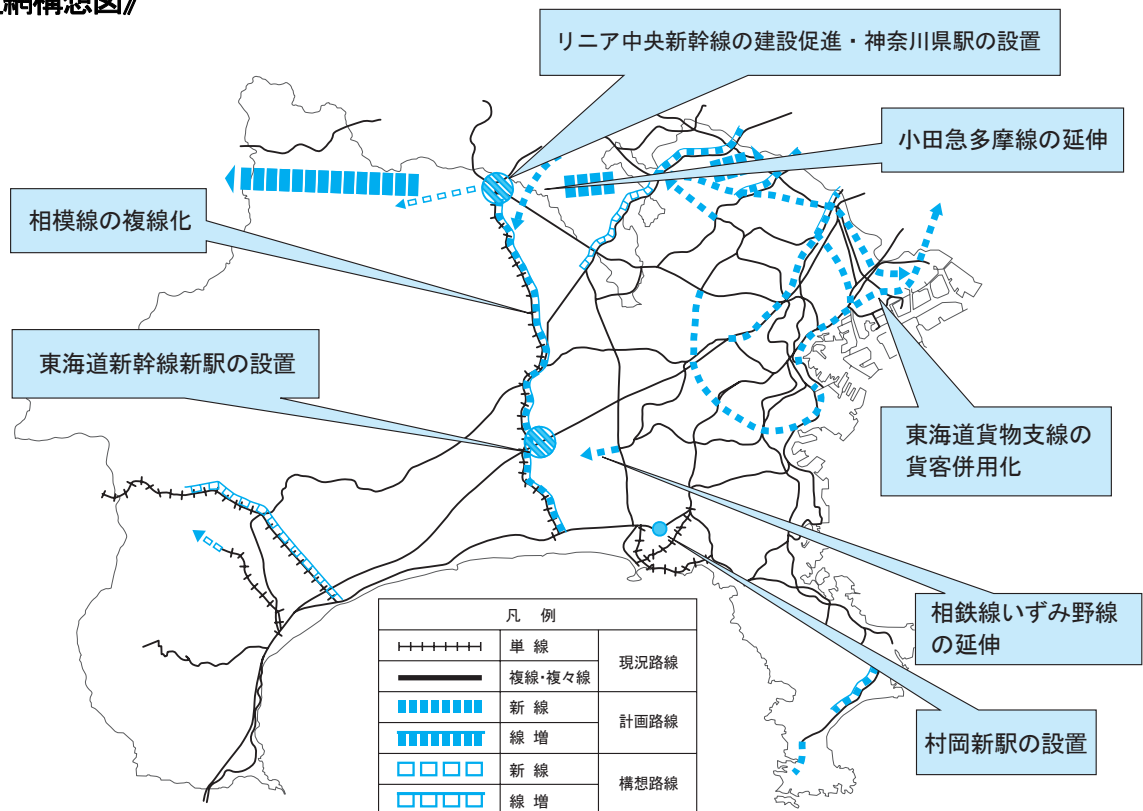
**【提案理由】**

首都圏機能の一翼を担う本県においては、首都圏の各都市や県内地域間の連携を強化し、あらゆる社会経済活動を支える利便性の高い交通ネットワークを形成することが不可欠である。

**《道路網構想図》**



**《鉄道網構想図》**



(神奈川県担当課：県土整備局環境共生都市課、交通企画課、道路企画課、道路管理課)